

まんなか

2026.5

春号

膝関節診療の判断ポイントと治療の選択肢

整形外科部長 医師
竹田 治彦

整形外科非常勤 医師 くつな
忽那 辰彦

整形外科主任 医師
福田 高彦

整形外科非常勤医師 忽那辰彦 プロフィール

2002年に愛媛大学医学部卒業後、愛媛県立中央病院、北海道美唄労災病院勤務者腰痛・脊損センター、愛媛県立今治病院、石川病院(現HITO病院)、済生会西条病院などさまざまな経験を経て、2014年愛媛大学医学部附属病院助教。4年前より当院非常勤勤務。

所属：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会、日本リウマチ学会、日本膝学会、日本人工関節学会、日本股関節学会、日本CAOS学会、中国四国整形外科学会、日本組織移植学会、日本コンピュータ外科学会

資格：日本整形外科学会専門医日本リウマチ学会専門医

趣味：映画鑑賞

ここで重要なのは、人工関節を動かす動力源は患者さん自身の筋力であるという点です。したがって、筋力が著しく低下する前の適切なタイミングでの介入が推奨されます。



また、活動性の高い若年層の患者さんには、関節を温存する「骨切り術」という選択肢もあります。安易な術式選択を避け、個々の活動性や病態を詳細に評価した上で、最適な治療法をご提案しています。

紹介を迷ったときの判断ポイント

ご紹介を検討いただく指標としては、適切な保存的治療を3か月間継続しても疼痛が改善しない場合や、疼痛により歩行距離が短縮するなど、生活制限が顕著になった段階が挙げられます。また、「膝が外れるような不安定感がある」「膝が引っかかって伸びない(ロッキング)」といった症状は、半月板や靭帯の器質的な損傷が疑われるため、早期の専門的評価が必要です。診断が確定しない段階であっても、画像所見と臨床症状に乖離がある場合などは、検査目的でもいのでご紹介ください。

患者さんの治療効果を最大化するためには、地域での保存療法と適切なタイミングでの外科的介入の緊密な連携が不可欠です。診断に苦慮される症例や手術適応の検討など、どのような事案でもお気軽にご相談ください。



膝関節治療が目指す“その先”



膝関節の疾患は、加齢に伴いクッションである軟骨が摩耗する変形性膝関節症と、スポーツ外傷などによる靭帯損傷や半月板損傷に大別されます。膝関節の障害を放置すれば、日常生活の制限に直結します。これは単に身体的な痛みにとどまらず、趣味や社会活動といった「人生の質」を著しく低下させる要因となります。診療の最終目標は、除痛はもちろんのこと、患者さんが再び社会とのつながりを維持し、心身ともに満たされた「Well-being」な人生を再獲得していただくことにあります。

治療の鍵は“術式”と“タイミング”

膝関節鏡視下手術(内視鏡手術)は、靭帯再建や半月板縫合において選択される治療法です。小切開で行うため組織侵襲が少なく、術後の関節拘縮を最小限に抑えられるメリットがあります。ただし、進行した変形性膝関節症に対しては鏡視下手術のみでは効果が限定的であることも広く認識されています。一方、末期の変形性膝関節症に対して高い信頼性を有するのが人工関節置換術です。損傷部位をインプラントで置換するこの術式は、確実な除痛が期待できます。こ



Hello Doctor

当院ドクターの人柄や得意分野をご紹介します

質問内容

- ① 出身大学・卒業年
- ② 医師を志したきっかけ
- ③ 得意としている分野
- ④ 自分を家電に例えると
- ⑤ 当院で挑戦してみたいこと
- ⑥ 将来の夢
- ⑦ 地域の先生方へひとこと



やまおか りえ
山岡 理恵
(小児科)



3人の我が子

- ① 愛媛大学・2004年卒
- ② 向井千秋さんに憧れて
- ③ 小児全般、心身症、発達
- ④ ポップアップトースター
- ⑤ ご家族、お子さまにとって、身近な“心の安全基地”になること
- ⑥ 仕事も育児も、楽しく元気に成し遂げること
- ⑦ 19年ぶりに、西条中央病院に戻って参りました。初心を忘れず、全力で取り組んでまいります。今後とも、何卒よろしくお願いたします。



すずき りょうすけ
鈴木 良輔
(泌尿器科)



田貫湖キャンプ場にて

- ① 愛媛大学・2013年卒
- ② 病気の治療、特に手術で治療ができることに、やりがいと魅力を感じたため
- ③ 泌尿器科悪性腫瘍、腹腔鏡手術
- ④ エアコン(ムラがない)
- ⑤ 泌尿器科入院治療、手術治療ができるように体制を整えたい
- ⑥ 腹腔鏡手術、ダビンチ手術(内視鏡手術支援ロボット)の導入
- ⑦ 常勤医1人で、できることは限られますが、地域のニーズに応じてできることを増やしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

TOPICS

当院にまつわるニュースをお伝えします

医師異動のお知らせ【】内は得意分野

■新採用医師(2026.4.1付)

- ・小児科: **山岡 理恵**【小児心身症・発達】
- ・泌尿器科: **鈴木 良輔**【腹腔鏡手術】

診療体制を変更しました

- ・泌尿器科: 常勤医師が着任し、入院診療にも対応します。
- ・皮膚科: 週2回から週1回に変更となりました(水曜日)。
- ・脳神経内科: 非常勤医師による診療を開始しました(木曜日)。
- ・糖尿病内科: 日本専門医機構認定内分泌代謝・糖尿病内科専門医が2週に1回診療を行います。また、6月からは愛媛大学糖尿病内科学の准教授が月1回診療を行います(いずれも水曜日)。

診療報酬改定に伴う研修会を開催します

心不全再入院予防継続管理料の「管理料3(外来)」を算定する医療機関の方を対象に、心不全に関する研修会を実施いたします。詳細は後日ご連絡いたします。ぜひご参加ください。

産婦人科・歯科に予約専用AI電話を導入!

24時間受付可能なAI電話を産婦人科・歯科にも導入いたしました。当院では今後も、患者さんの利便性向上と電話対応の円滑化に取り組んでまいります。

2026/4/25
産婦人科・歯科の
予約専用AI電話がスタート!
050-5538-5997

受付時間	対応内容
24時間受付 ※AI音声対応による受付となります。	診療予約・予約変更 予約キャンセル・予約確認

西条中央病院
産婦人科・歯科AI電話
番号も変わりました!
050-5527-2746

※なお、昨年より導入している健診・ドックのAI電話番号も、システム更新に伴い番号変更となりました。

健康管理センターの
AI電話番号が変わりました!
050-5527-2746

受付時間	対応内容
24時間受付 ※AI音声対応による受付となります。	健診予約・予約変更 キャンセル・その際のご案内

西条中央病院
健康管理センターAI電話
番号も変わりました!
050-5527-2746

編集後記 vol.11「地域医療連携懇話会を開催します」

昨年に引き続き、西条市内の医療機関の先生方や行政の皆さまと連携を深め、「顔の見える関係づくり」をすることを目的として、6月13日(土)に第5回地域医療連携懇話会をいともちにて開催いたします。今年も皆さまとお会いできることを楽しみにしております。(松尾)

発行

西条中央病院 地域医療連携室

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市804番地

TEL 0897-47-3768 (直通)

FAX 0897-47-4761 (直通)

西条中央病院HP

<https://www.saijo-c-hospital.jp/>

地域医療連携室HP

<https://www.saijo-c-hospital.jp/medical/rml/>



公式Instagram

https://www.instagram.com/saijo_central_hospital/



公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@user-tc8cn6qr7k>

